

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月1日(月) 13:30~14:25
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 北館3階 多目的室
- 4 参加者  
会長 神山 弘彦 岐阜市西秋沢自治会長  
副会長 山田 孝治 北方町商工会専務理事  
委員 森 久子 本巣市青少年育成推進委員 本巣市主任児童委員  
松本 和久 岐阜聖徳学園大学教育学部特別支援教育専修教授  
高倉 勇 本巣市民生委員児童委員協議会 児童委員  
牛丸 真児 瑞穂市社会福祉協議会  
福祉総合相談センター相談支援専門員  
橋本 民子 本巣市障害者生活支援センター「えがお」  
板倉 寿明 愛知淑徳大学講師  
河合 一恵 岐阜本巣特別支援学校PTA会長  
真鍋 富子 岐阜本巣特別支援学校PTA副会長

学校側	吉田 晃樹 校長	松野 聡美 事務部長
	樽井 良和 小中学部教頭	福井三和子 高等部教頭
	松本 深香 小学部主事	山内 康弘 中学部主事
	栗原 利樹 高等部主事	肥田 幸宗 教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

(1) 今年度の教育計画実施状況について(中間報告)・・・校長、各部主事より

(2) 学校評価アンケートの結果について・・・高等部教頭より

意見1: 自分でタブレットを使える、調べる、自分で解決しようとする姿に感動した。

(感染防止対策として) 自分で体温を測ることができることはすごいこと。小さいときからしっかりやることは大切である。

意見2: 高等部3年生の就業体験について、新しい企業を教員が見つけてくるのは大変であろう。企業の協力があり、上手くいけば就職につながることは素晴らしい。是非、生徒達にとっていい就職先が見つかるとうい。

意見3: アンケートは今以上にいい結果が出るように今後も尽力してほしい。

見学の中で気づいたことは、外国籍の保護者が、今後も増えてくるのではないかということ。外国籍の保護者とのコミュニケーションが大切だと思うが、教員も大変である。教室などの環境については、床暖房、空調等必要な設備を整備していくことは大切である。我々委員が意見することが本会議の意義でもある。いじめの問題も同様に大切である。

意見4: 見学できてよかった。子どものアンケートも私が思う以上のよい結果がでている。

意見5: 児童生徒が進んで挨拶してとてもよい。

高等部生徒のアンケート結果で「学校に来るのが楽しくない」という回答の理由が「コロナで友達に会えない」と聞いて、安心した。社会に出るときに大切なことを教員が教えていて素晴らしい。見学していろいろと児童生徒達の作品も見ることができてよかった。ハロウィンのお面は、説明もすごく上手に書いてあった。ICTもよく活用されている。

意見6：本校は高校をリフォームされてできた学校と聞いた。今回初めて見て、教室が狭く窮屈に感じる。もっと動き、戯れる空間があるとよい。全体的にまだ活用できる可能性があり県や国に内情を含め、現状をもっと知ってもらい、児童生徒がのびのびと生活ができる施設、設備を考えてほしい。教育の内容は安心できるが、空間を何とか改善できるとよい。

参観では、教職員が子供たちに寄り添っている姿が見られてよかった。

意見7：高等部生徒のアンケートは、生徒の声を聴いていて素晴らしい。紙面＋聞き取りで調査すると、より生徒の声が詳しく聞ける。また自分の気持ちを伝えるのが苦手な生徒の、声にならない声を聴いてほしい。

意見8：学校の中がきれいで、落ち着いている。学校が落ち着いていることは学びに向かうために、たいへん大切なことである。本校の学びの成果である。

アンケートは、学校課題を改善する目安である。不足している情報の発信については、例えば作業所等の説明会は保護者が個々で行かなくても済むように工夫すると保護者にとってより情報が伝わるのではないか。放課後デイサービスも多くできているので、どこの事業所にどんな特色があるか、保護者が選択しやすいように、一歩すすんだ情報提供の在り方を工夫するとよい。

意見9：児童生徒がコロナ禍での感染対応に慣れていると感じた。

コロナ禍のため、学校に保護者が来ることが少なく、保護者どうしの交流も減っている。子どもの送迎でも、昇降口での引き渡しで、教室まで行くことがなく、クラスの様子も分からない。

ICTの活用については、タブレットの使い方が分からない保護者がいる。また、子どもが勝手にいろいろなサイトを見てしまわないように保護者にも説明を丁寧にしてもらえるとありがたい。

意見10：コロナ禍で事業所説明会がない。卒業までに働くところを探すために、ホームページの情報だけでなく、早めに先生からのアドバイスがほしい。コロナ禍がおさまれば、ゆめフェスタや他学部の発表を見たい。参観日がない分、学校の様子をもっと知ることができるとよい。

### (3) 高等部生徒心得について

意見1：高等部の体操服は、長袖があるとよい。

→ 検討する。

意見2：類似品なら大丈夫と言われているのでそれでよいか。

→ よい。

### (4) 学校施設の開放について

- ・学校長より本校の施設の活用について説明。委員の了解を得た。

### (5) 作業製品価格の検討

①新製品：ティッシュカバー ¥1,000、サコッシュ ¥1,200

②前回、検討となった織りぼんは400円を300円にした。

- ・①②とも適正価格と承諾を得た。
- ・その他、品名変更と廃止品も一覧で提示。

意見1：織りのロングストラップの替えが欲しいが、販売の実績に基づいて廃止と聞いて残念である。

意見2：サコッシュは小さいものがあると、女子には良い。今のより2/3ぐらいの大きさがよい。

## 6 まとめ

- ・第2回学校運営協議会では、感染予防対策を講じたうえで、短時間で校内の参観を実施した。児童生徒の生き生きと活動する様子や教育環境を実際に参観したことで、その後の協議において、委員から活発な意見を得ることができた。
- ・今年度の教育活動計画の実施状況や学校評価アンケートの結果等、中間報告を行うことで委員からの貴重な意見や助言等を後期の取組に活かしていきたい。特に情報発信については、ホームページの更新や学校通信の発行、懇談等を継続して、保護者のニーズに応えていけるように努めていく。